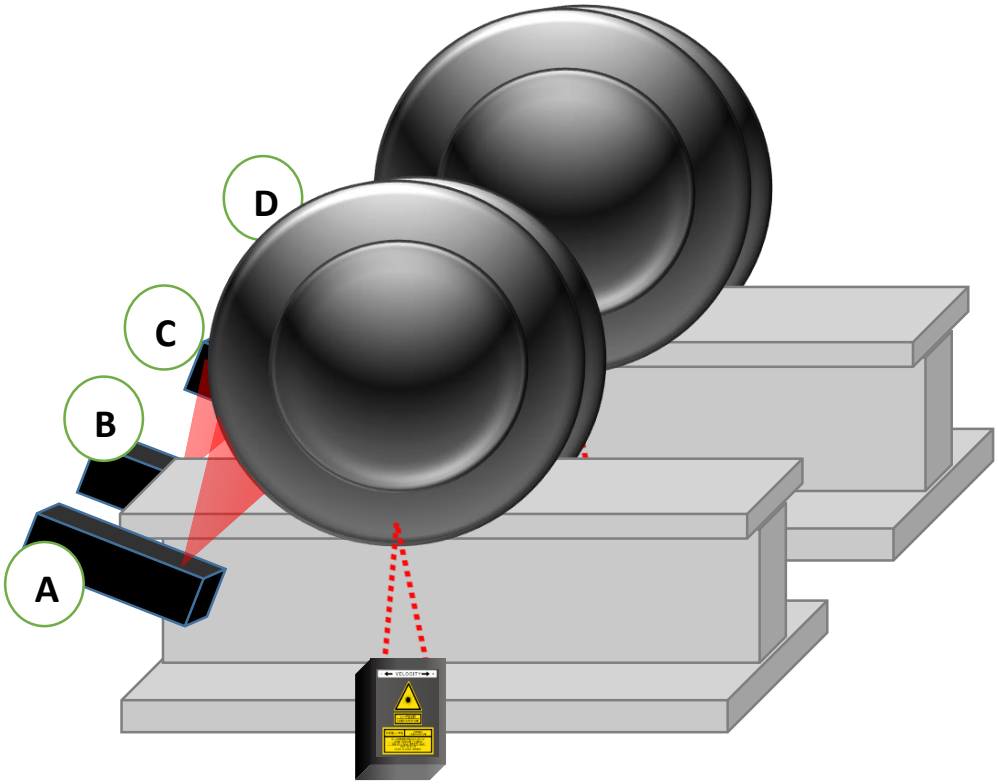
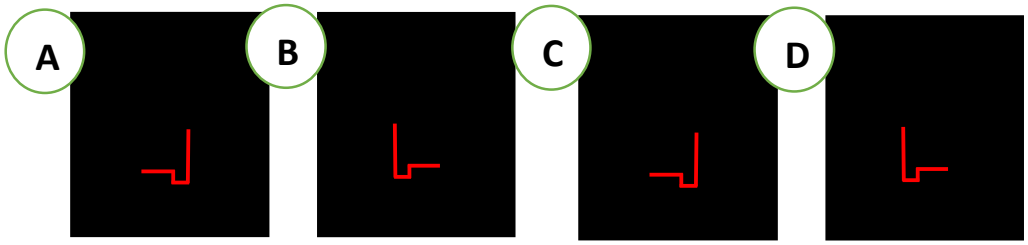
鉄道による3Dプロファイラの使用例について

鉄道車輪について（車輪形状測定）

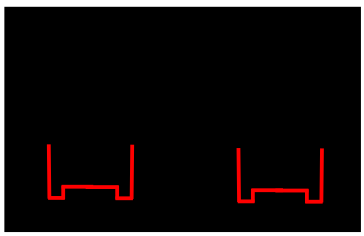
３Dプロファイラ×4台



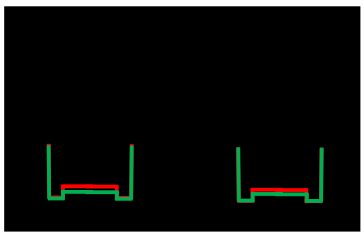
3Dプロファイラで車輪の摩耗を検出します。



A・B2つのセンサで右側車輪
C・D2つのセンサで左側写真
を測定します。



2つのデータを各々合成し、1つのﾃﾞｰﾀとします。



レールの元々の基準データと比較を行い
摩耗量を測定します。

LDVを使用して、数cmに一回測定を行います。